

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 4 年 10 月 7 日

設置・運営主体	社会福祉法人 安心会		
設置主体	社会福祉法人 安心会		
経営主体	社会福祉法人 安心会		
事業所名 (施設名)	大宮すこやか保育園	種別	保育所
所在地	〒 330-0843 さいたま市大宮区吉敷町4-197-2		
電 話	048-640-1171		
FAX	048-640-1172		
Email	oomiya-sukoyaka@anshin.or.jp		
URL			
施設長氏名	田代 澄夏		
調査対応担当者	田代 澄夏 (所属、職名：)		
利用定員	80 名	開設年	昭和 29 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>【保育理念】 「あのね、きょうね・・・」子ども達の心は表情や言葉になって溢れ出ます。 子ども達ひとりひとりが毎日生き生きと過ごせる人的、物的環境を整え、心を込めた関わりを持つことで「その子が最もその子らしく光る」事を理念とし、一生の土台となる「しなやかでたくましい心と身体」を育みます。</p> <p>【保育目標】 * 元気で明るい子 たっぷり遊んで、よく食べて、ぐっすり眠る * 意欲を持って行動のできる子 十分に育ちを見守られながら、さまざまな体験をとおして、豊かな感性と自主性を育てる</p>			
開所時間 (通所施設のみ)	月～土 7:00～18:00 延長保育(土除く) 18:00～20:00		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	6	6	1		3
1歳児	11	11	1		4
2歳児	12	12	1		3
3歳児	17	17	1		2
4歳児	17	17	1		2
5歳児	17	17	1		1
計	80	80	6	—	—

(注) 1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		17人	
うち	保育士	17人	保健師・看護師
	栄養士・調理員		その他()
非常勤職員数		10人 (常勤換算 4.9人)	
うち	保育士	8人 (常勤換算 4.9人)	
	保健師・看護師	1人 (常勤換算)	
	栄養士・調理員	人 (常勤換算)	
	その他()	1人 (常勤換算)	
(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 4人	非常勤： 4人
	退職	常勤： 0人	非常勤： 3人
		29.8	歳 (29.8 歳)
(4) 常勤職員 (うち保育士・保健師・看護師) の平均在職年数		2.7	年 (2.7 年)
(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。			

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	294.16 m ²	
	児童1人あたり	7.1 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	0 m ²	
	児童1人あたり	m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	29年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・入園説明会及び入園後、コンサルティング会社(第三者委員)と契約した苦情窓口の契約について通知。いただいたご意見等は意見者だけでなく、全世帯へ通知。
- ・年度末全家庭向けアンケートを調査実施し、集計結果及び全ご意見を配布。次年度以降の保育に活かしていく。
- ・本部直行の意見ハガキをエントランス内に設置。
- ・随時、メール配信にてご意見ご質問等受付している旨を知らせる。
- ・保育参加終了後アンケート調査実施。
- ・怪我やトラブルの報告だけでなくエピソード等、保育士側から園での様子をお伝えし、保護者の方からもお話しやすくするようなきっかけづくりを心掛け、日常的なコミュニケーションを大切にしている。
- ・予め日時を調整しての個別面談だけでなく、必要に応じ随時面談を行い、保護者の方々と共通認識を持って子ども達と関われるよう心掛けている。
- ・連絡帳や登降園児等に頂いたご意見は内容に応じ、書面や口頭等で担任、主任、園長等が迅速に対応。
- ・保護者から声を掛けやすいよう事務所の戸を開放しておいたり、エントランス内外に出て挨拶等実施。

【その他特記事項】

貴施設(事業所)の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・保護者が働いているから預けられる場所ではなく、自らが行きたい、遊びたいと思って通う保育園であることを目指す。
- ・英語や体操教室等保育園側から設定した一斉的な保育ではなく、子ども達が自らやりたいと思える保育の実現を目指しつつ、自ら考え、遊びを創り出し、やりたくない事や好きではない事も取り組んでみる事によって楽しんだり達成感や自信につながるような保育を目指している。
- ・日常的に廃材を用いた製作を行うことができる。
- ・散歩等屋外での活動を多く取り入れる。
- ・遠距離の散歩を行う事で、交通ルールを守りながらも様々な外的刺激を受け心も身体も成長していけるようにする。

【第三者評価の受審状況】

・受審回数(前回の受審時期)

_____回 (平成_____年度)